

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●マンハッタンカフェ産駒がJRA通算1100勝を達成

1月20日(日)の1回中京2日・第7レースではキュールエサクラが1着となり、マンハッタンカフェ産駒のJRA通算勝利数が1100勝となりました。これは史上14頭目の記録となります。

●サトノダイヤモンドらの競走馬登録抹消

2013年ジャパンダートダービー(大井・Jpn I)などの勝ち馬クリソライト(牡9歳/栗東・音無秀孝厩舎/JRA通算18戦3勝・地方19戦5勝・海外2戦1勝)、2016年有馬記念(G I)などの勝ち馬サトノダイヤモンド(牡5歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算16戦8勝・海外2戦0勝)、2018年ヴィクトリアマイル(G I)の勝ち馬ジュールポレール(牝6歳/栗東・西園正都厩舎/JRA通算17戦6勝)、2017年クイーンエリザベス二世C(香港G 1)などの勝ち馬ネオリアリズム(牡7歳/美浦・堀宣行厩舎/JRA通算18戦7勝・海外4戦1勝)、2018年スプリンターズS(G I)などの勝ち馬ファインニードル(牡6歳/栗東・高橋義忠厩舎/JRA通算26戦10勝・海外2戦0勝)、2018年宝塚記念(G I)などの勝ち馬ミッキークロケット(牡6歳/栗東・音無秀孝厩舎/JRA通算24戦5勝)、2016年と2017年のスプリンターズS(G I)を連覇したレッドファルクス(牡7歳/美浦・尾関知人厩舎/JRA通算28戦10勝・海外1戦0勝)は、1月24日(木)までに競走馬登録を抹消されました。クリソライトは韓国、サトノダイヤモンドとレッドファルクスは北海道安平町の社台スタリオンステーション、ネオリアリズムはオーストラリア、ファインニードルは北海道日高町のダーレー・ジャパンスタリオンコンプレックス、ミッキークロケットは北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬となり、ジュールポレールは北海道白老町の白老ファームで繁殖馬となる予定です(年齢は抹消時)。

●佐々木竹見Cに戸崎騎手とルメール騎手が出場

1月29日(火)、川崎競馬場で行われる「第17回佐々木竹見C ジョッキーズグランプリ」に、戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)とクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)が出場することとなりました。このレースは中央と地方のリーディングジョッキーが腕を競うもので、JRAからは関東・関西それぞれの前年度最多勝利騎手(中央・地方・海外の合計)が招待されることになっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●TCK女王盃(大井)でJRAの伏兵ビスカリアが重賞初制覇

TCK女王盃(Jpn III、1月23日、大井、1800m)は、5番手から直線に入って間もなく抜け出した6番人気のビスカリア(森泰斗騎手=船橋、牝7歳、父ヴァーミリアン)が5馬身差で圧勝。9番人気のマルカンセンサー(大井)が2着に入り、単勝1.4倍で圧倒的人気のラビットランは3着、ワンミリオンズは7着、2番人気のエイシンセラーは8着、3番人気のアイアンテラーは12着に終わっています。

●全日本新人王争覇戦(高知)は大井の藤田凌騎手が優勝

1月22日に高知で2レースのポイント制で争われた全日本新人王争覇戦は、1、4着という成績で大井の藤田凌騎手が総合優勝。武藤雅騎手(美浦)は11、2着で第3位、横山武史騎手(美浦)は7、7着で第9位、富田暁騎手(栗東)は5、9着で第10位でした。

●連覇を狙うケイティブレイブ、1月30日の川崎記念(川崎)

川崎記念(Jpn I、1月30日、川崎、2100m)は、昨年の覇者ケイティブレイブが中心、以下一昨年の優勝馬オールブラッシュ、ミツバ、アポロケンタッキー、サルサディオオーネ、コパノチャリーの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1 スチュワーズC~ビューティージェネレーション完勝

1月20日に香港のシャティン競馬場で行われたG1 スチュワーズC(3歳上、芝1600m)は単勝1.15倍の1番人気に支持されたビューティージェネレーション(騾6歳、父ロードトゥロック、J.ムーア厩舎)が逃げて3馬身差の完勝。昨年4月のG1チャンピオンズマイル(芝1600m)から続く連勝を6に伸ばすとともに、昨年12月のG1香港マイル(芝1600m)からのG1連勝としました。2着は元日のG3チャイニーズクラブチャレンジCを制して臨んだコンテ。ビューティージェネレーションの次走は2月17日のG1クイーンズシルバージュビリーC(芝1400m)の予定です。

●G1 センテナリースプリントC~ビートザクロックがG1初制覇

上記G1 スチュワーズCの2レース前に行われたG1 センテナリースプリントC(3歳上、芝1200m)は内の4番手でレースを進めたビートザクロック(騾5歳、父ヒンチンブルック、J.サイズ厩舎)が直線で抜け出すと、最後はG1香港スプリントを連覇したミスターズタニングの追い上げをクビ差退けて優勝。G1初制覇を果たしました。次走は昨年ビューティージェネレーションの2着だったG1クイーンズシルバージュビリーCの予定で、ビューティージェネレーションと再び対戦します。